

NEWS LETTER



京都教育大学
附属教育実践センター機構

Kyoto University of Education
Organization of Educational Research and Practice Centers

第15号(2013.10.28)

教育支援センター

Educational Support Center

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

工事中の移転先について

工事終了(来年3月末予定)までの移転先は以下のようになっています。ご周知の程、よろしくお願い申し上げます。

事務室、樋口研究室	C棟2階 プロジェクト研究室 C2 (部屋番号 1C207)
小林研究室	A棟1階 プロジェクト研究室 1A3 (部屋番号 1A105)
関口研究室	事務局3階
池田研究室	B棟4階 プロジェクト研究室 1B8 (部屋番号 1B481)
竹花研究室	C棟2階 プロジェクト研究室 C2 (部屋番号 1C206)
地域支援推進室	図書館2階 研修・セミナー室(2)
留学生演習室	図書館2階 研修・セミナー室(3)

国立大学教育実践研究関連センター協議会に参加して

第83回国立大学教育実践研究関連センター協議会が、9月20日(金)に秋田大学で開催されました。当日は、参加大学の現状報告、秋田大学教育文化学部附属小学校教諭による公開授業の参観、部門会議(教育実践・教師教育部門に参加)が行われ、他大学の特色ある取り組みを聞くことができました。プログラムの一部を紹介します。

公開授業では、大学内の臨床型模擬教室の授業を隣室の教室にライブ中継するシステムが使用され、模擬教室内で行われた実際の授業参観とライブ中継による観察の両者を体験しました。資料として模擬教室と隣室(ホール)の様子をまとめています。

秋田大学臨床型模擬授業教室と隣室からの授業観察

教室配置図

模倣教室
教材準備室
記念ホール

アコーディオン式パーティション

模倣教室および教材準備室

天井カメラ(固定)
天井カメラ(リモート)
プロジェクター
天井マイク
アコーディオン式パーティション
黒板
入口
可動ビデオカメラ(持込)

隣室からの授業観察(記念ホール)

模倣教室天井備え付けカメラ映像
(映像はホールより遠隔操作)

教室後方テレビカメラ映像
(教室にカメラを持ち込み、カメラマンが操作)

- ・約300名収容
- ・前のスクリーンに授業風景
- ・スピーカーで音声が行れる

画面は4分割と1映像の全面画を切り替えて使用

部門会議では、茨城大学教育実践総合センターの昌子先生により、同センター教育支援部門が行っている特色ある取り組みが紹介されました。学生をどのように育てていくか?という命題に対して、「優秀教員による模擬授業研修会」という形で、非常に興味深い取り組みを始めていました。その概要を資料としてまとめました。

めざす教師像・授業像の構築 「学び続ける教師」の育成

(茨城大学教育実践総合センターの取り組み)

新入生が教師を目指す動機と目標像



かつて(小中高で)出会った教師への憧れとその経験により魅力を持つ/憧れの教師が将来のモデル

(児童・生徒)目線からの一方的な考え方

「憧れ」を越えた、自分自身がはっきりと目指すべき現実的・具体的な教師像(モデル)

すなわち、**学び続ける教師像**の構築



支援の一部と特色ある取り組みの紹介

- ・教育実習事前指導(1年次)
お世話になった先生(恩師)に会い、インタビューを行う。
- ・教育実習事前指導(2年次)
小・中学校訪問を行い、教育諸活動の実地参観と、現場の先生の話しを聞く。



優れた教師の持つ豊かな見識や教育・授業観、日々蓄積されている「実践知」に改めて出会い、考え直す機会の提供

茨城大学
教育実践総合センター



・優秀教員による模擬授業研修会

顕著な教育上の実績を有する小学校・中学校教員を講師として、大学生を対象として「模擬授業」(大学生を小学生あるいは中学生と想定して行う授業)を行う。授業後に、講師による授業解説、質疑応答、協議を行う。

「優秀教員」とは・・・文部科学大臣 優秀教員表彰、茨城県 優秀教員表彰「ティーチャーオブティーチャーズ」

H24年度に始まり、現在2回実施し、非常に好評である。この模擬授業は、大学教員も見学を行うためFDとしても機能している。

参考資料: http://center.edu.ibaraki.ac.jp/doc/center_news/2013_07_27.pdf

この協議会は年2回行われていますが、今後も興味深い取り組みや研究など共有すべきことがありましたら、ニュースレター等を通じて発信していきます。(文責 小山宏之)

留学生と地域住民との交流プログラム



平成25年度第3回は、10月23日(水)に「鎮江一三山と三怪」と題して、中国人大学院生の沈瀟さんにお話し頂きました。鎮江は、長江のほとりにあり、風光明媚な三山(北固山、焦山、金山)に囲まれ、呉の都があったところで、三国志ゆかりの史跡が多くあります。また、「三怪」料理といわれる「鎮江香醋」(黒酢の一種)、「肴肉」(塩漬けされた豚肉料理)、そして「鍋蓋面」(その昔、大きな鍋で麺をゆでていた時、鍋より小さい木の蓋をしたまま茹でてしまったのですが、そのことにより美味しい麺が茹で上がったことが名前の由来)があるとのことでした。



次回は、11月13日(水)に「まなびの森ミュージアム シアター」にて開催する予定です。

学生ボランティアについて

ボランティア活動に関して、学生に周知していただきたいこと

1. 学生が公立学校等でボランティア活動をする場合、必ず、教育支援センター内の地域支援推進室で登録するようお声かけ願います。正式に大学に登録しておくこと、例えば、教員採用試験の書類作成の際に、ボランティア活動の実施について大学側で承認することができ、就職にとって有利に働く場合があります。
2. 京都府内だけでなく、さまざまな地域での多様な学校ボランティア(時間的にも)を紹介することができますので興味関心を持っている学生には、**ぜひ、一度、地域支援推進室**に来室するようお声かけください。

【(センター工事期間) 図書館2階: 地域支援推進室】 Tel 075-644-8336 Eメール sien@kyokyo-u.ac.jp

受付時間 月曜日・木曜日 11時~14時 金曜日 11時~15時 担当: 河内(かわち)

教育支援センター スタッフ

センター長(併)	水山 光春	075-644-8281	mizuyama@
教育実践連携部門	樋口とみ子	075-644-8337	tomiko@
実地教育部門(兼任)	小林 稔	075-644-8229	mkoba98@
実地教育部門(兼任)	小山 宏之	075-644-8281	koyama@
モラル・人権意識向上教育部門	関口 久志	075-644-8326	sekihis@
特任教員(京都市教育委員会)	池田 忠	075-644-8214	iked@
特任教員(京都府教育委員会)	竹花 裕子	075-644-8216	yuko627@
事務補佐員 センター全般	杉本 恭子	075-644-8335	kyoko@
事務補佐員 地域支援推進室	河内真由美	075-644-8336	sien@
教務補佐員 学校運動部活動指導者育成事業	勢井加奈子	075-644-8143	kanako@

TEL 075-644-8335 FAX 075-644-8339 E-mail cert@kyokyo-u.ac.jp

